

# 行歯会だより 第154号

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

令和2年7・8月号



## 1 2019年度 厚生労働省歯科保健医療行政実務研修報告

町田市保健所 保健予防課 主事

田中 智香

## 2 都道府県世話役のつぶやき ～鹿児島県・香川県～

● 鹿児島県 暮らし保健福祉部健康増進課 がん対策・歯科保健係 技術専門員

比良 ゆかり

● 香川県 中讃保健福祉事務所 健康福祉課 副主幹

林 浩範

## 1 2019年度 厚生労働省歯科保健医療行政実務研修報告

町田市保健所 保健予防課

主事 田中 智香

行歯会会員の皆様方には、いつも大変貴重な情報提供をいただきありがとうございます。昨年度、厚生労働省医政局歯科保健課での実務研修に参加させていただきましたので、下記のとおりご報告いたします。



### 1 研修目的

- (1) 歯科保健に関する施策が国ではどのように企画立案されているのか、その過程や実務を学ぶことで、今後の町田市の歯科保健施策に反映させる。
- (2) 国の歯科保健を担う方々の業務を間近で見たり経験したりすることで、自身の業務処理能力の向上に活かす。

### 2 研修期間

2019年5月から2020年2月までの期間のうち17日間（月2日程度）

日程はその都度、自所属の業務との調整の上で設定した。

### 3 研修内容

研修期間中は主に、打合せ・会議等の傍聴、集計・回答とりまとめ作業、資料作成、イベント準備・運営といった業務を経験した。

#### (1) 打合せ・会議等の傍聴

- ・ こども霞が関見学デー 打合せ
- ・ 「障害者等への歯科健診等推進事業に係る調査研究および厚労科研の進捗状況について」  
打合せ (昭和大学歯学部 弘中先生)
- ・ 「全国保険医団体連合会」陳情対応 同行
- ・ 次期「歯科疾患実態調査」診査票 打合せ (国立保健医療科学院 三浦先生)
- ・ 「(委託事業) 口腔保健に関する予防強化推進モデルに係る研究 第2回検討委員会」傍聴
- ・ 「令和3年度概算要求」室内検討

- ◇ 有識者や関係機関、関係団体からの意見の聴取や研究調査データを基に、検討を重ねながら常に先を見据えた施策の実施・検討を行っている様子が伺えた。
- ◇ 室内では頻繁にミーティングが行われ、情報共有や報連相も活発であった。仕事を円滑に進める上では、組織のチームワークが大切だと感じた。

#### (2) 集計、回答とりまとめ作業

- ・ 「8020 運動・口腔保健推進事業」実施報告とりまとめ
- ・ 「歯科口腔保健に関する調査」回答とりまとめ
- ・ 「歯周病検診」集計
- ・ 「東京都食育フェア」咀嚼チェックガム 集計

- ◇ 調査回答等の集計作業を通して、全国の自治体における事業の実施状況等について知ることができた。
- ◇ 国が推進する施策がどの程度現場に反映されているのか、また現場は施策を実施する上で国にどのような支援を期待するのか、それらを把握するための材料となることを実感した。

### (3) 資料作成

- ・「歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰」推薦者調書、表彰式参加者名簿
- ・「親と子のよい歯のコンクール」審査会資料
- ・「全国歯科保健大会」挨拶文案
- ・「歯科口腔保健に関する調査」ホームページ掲載資料
- ・「成育基本法関連施策」に関する資料
- ・歯科医師数・就業歯科衛生士数に関するデータ

- ◇ 全国から送られてきた推薦者調書やコンクールの応募資料を基に審査会資料を作成するなど、表彰者や優秀者が選出されるまでの一連の流れを知ることができて面白かった。
- ◇ 保有する資料やデータの量が多く、そこから必要な情報を整理、処理するための能力が求められると感じた。

### (4) イベント準備・当日従事

- ・こども霞が関見学デー
- ・東京都食育フェア
- ・市町村セミナー

- ◇ イベントでのブース出展は当市でも毎年行っているが、厚生労働省では企業や関係団体と協働しながらイベントの企画・運営を行っている点で参考になる部分が多かった。
- ◇ 企業とのつながりをつくることができ、今後新たな普及啓発内容を展開する際に活用していきたいと思った。

## 4 研修スケジュール

	日時	研修内容
1	5/8 午後	オリエンテーション（挨拶、組織説明、省内説明、PC操作確認）
2	5/30	・「8020運動・口腔保健推進事業」実施報告 都道府県の回答とりまとめ
3	6/5	・「8020運動・口腔保健推進事業」実施報告 都道府県・保健所政令市の回答とりまとめ
4	6/21	・前回の続き ・「歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰」都道府県の推薦者調書の入力
5	7/11	・前回の続き ・「歯科口腔保健に関する調査」とりまとめ データ更新
6	7/22	・「親と子のよい歯のコンクール」審査会資料入力、整理 ・「歯科口腔保健に関する調査」集計作業 ・こども霞が関見学デー 打合せ
7	8/6 午後	・こども霞が関見学デー 前日準備

8	8/7	・こども霞ヶ関見学デー 当日従事
9	9/5	・「歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰」表彰式参加者名簿作成 ・「全国歯科保健大会」挨拶文案の作成 ・「歯科口腔保健に関する調査」集計作業
10	9/20	・「8020 運動・口腔保健推進事業」実施報告 都道府県・保健所政令市の回答 とりまとめ ・「障害者等への歯科健診等推進事業に係る調査研究および厚労科研の進捗状 況」打合せ（昭和大学歯学部 弘中先生）
11	10/8	・「8020 運動・口腔保健推進事業」実施報告 都道府県・保健所政令市 回答 とりまとめ（催促後） ・食育推進等口腔機能維持向上事業に該当する取り組み 自治体をピックアップ
12	11/9	・東京都食育フェア 当日従事
13	11/28	・東京都食育フェア 咀嚼チェックガムの集計 ・「全国保険医団体連合会」陳情対応 同行見学 ・「歯周病検診」集計作業（年齢別実施率、自己負担の有無等）
14	12/18	・「歯科口腔保健に関する調査」HP 資料更新準備 ・町田市の歯科保健業務について 説明 ・次期「歯科疾患実態調査」問診票 打合せ（国立保健医療科学院 三浦先生）
15	1/9	・「(委託事業) 口腔保健に関する予防強化推進モデルに係る研究 第2回検討 委員会」傍聴 ・「成育基本法関連施策」資料作成
16	2/7	・市町村セミナー 当日従事
17	2/20	・「令和3年度概算要求」室内検討 ・通知文書 更新準備 ・歯科医師数・就業歯科衛生士数 データ作成

### 3 研修を通して

本研修では、国の実務を間近で学ぶことで理解が深まり、自身のスキルアップにもつながる刺激を受けられる大変有意義な研修であった。

全体を通して一番感じたことは、組織のチームワークの良さや個々人の業務効率・処理能力の高さである。実習期間中は同じ空間で業務に就かせてもらったこともあり、1日の動きや執務室内で飛び交う会話、電話応対をそばで見聞きできた。そこでは活発にコミュニケーションがとられ、チームとして効率的に業務が行われる様子が伺えた。そして、常に関係機関や団体と連携しながら物事を進めていることがよく分かった。行政の歯科職として、業務処理能力や法的根拠の理解、専門的知識、広域的な視点が求められることは同じであり、“仕事のやり方”といった面で参考となる部分が多かった。

自身の変化として感じることは、今実施している事業がどのような背景や根拠に基づき行っているものなのか、行政的な視点を意識して考えるようになったことである。各自治体が発行して

いる事業は国の施策を受けて取り組んでいるものが多く、きちんと把握した上で実施する必要があると改めて感じる事ができた。また、以前よりも国の動向や国が発信する情報へのアンテナを高くもつようになった。

これまで日々現場で働く私にとって、国という機関は遠い存在で、国の方針や施策に従って自分たちは業務を行っているのだという感覚が大きかった。しかし、国では、都道府県や市町村で実際にどのようにして取り組みが行われているのか、どのようにすれば取り組みやすいのか、実情を吸い上げながら把握することにも努めており、国と市の双方向へのベクトルを感じる事ができた。現場の視点からも積極的に意見を届け、国・都道府県・市町村が相互にコミュニケーションを図りながら一体となって歯科保健を推進していくことの重要性を感じる事ができ、貴重な経験となった。

#### 4 おわりに

実習生として受け入れてくださった歯科保健課の皆様方には、このような貴重な機会をいただき大変感謝しております。若手からベテラン歯科衛生士まで経歴問わず、歯科保健医療行政に従事していく上で役立つ研修かと思っておりますので、今後より多くの方が参加できることを願っております。

## 2 都道府県世話役のつぶやき

鹿児島県

くらし保健福祉部健康増進課 がん対策・歯科保健係

技術専門員 比良 ゆかり



### ●世話役のつぶやき

行歯会の皆様にはいつもお世話になり、ありがとうございます。

世話役となり、早10年となりました。名ばかりの世話役ですが、県内会員との連絡調整に務めたいと思います。

### ●最近のトピックス

毎年のように大規模災害が発生していますが、今年も7月に熊本県を始め、多くの県で豪雨災害が発生し、亡くなられた方、被災された方も多く、心から哀悼の意とお見舞い申し上げます。

さて、当県の最近のトピックスですが、昨年5月27日に口腔保健支援センターを設置し、1年が経過したところです。職員は、非常勤歯科医師2名、常勤歯科衛生士1名です。非常勤歯科

医師は、鹿児島県歯科医師会、鹿児島大学からセンター歯科医師としてお願いしています。それぞれ週4日、週2日の勤務となっており、歯科保健業務に従事していただいています。センター業務として、昨年度から市町村及び地域振興局等の歯科衛生士、保健師、栄養士を対象に歯科保健担当者研修会を実施しています。

当県の市町村の歯科衛生士配置状況は、常勤歯科衛生士の配置は少なく約2割弱、非常勤の配置は約4割弱となっており、その他の市町村の歯科保健担当職種は保健師や栄養士となっています。そのため、行政の歯科保健を担当する専門職において、歯科保健に関する知識だけでなく、自治体のニーズ把握や新しい取組の企画立案及び多職種や関係団体と連携し、事業を展開する能力などを身につけることを目的に実施することになりました。

第1回目の研修会では、千葉県市原市の高澤みどり氏に講師を依頼し、快く引き受けて頂きました。折しも、市区町村歯科衛生士新任期人材育成ガイドラインを行歯会が作成中であり、今回の研修会のテーマと一致することから、ガイドラインに携わっていましたが高澤氏に講師をお願いできたことはとても幸運でした。研修会では、講話、グループワークの助言等などいただき、充実した研修となりました。

また、昼間だけでなく夜の部も当県の歯科医師、歯科衛生士が参加し、高澤氏を囲み焼酎を片手に楽しく情報交換することができました。

当県は予算が厳しい状況のため、なかなか県外からの講師を招くことが難しいですが、行政に携わる専門職として、歯科口腔保健の取組が推進できるよう市町村へ支援していきたいと思いません。

香川県

中讃保健福祉事務所 健康福祉課

副主幹 林 浩範

#### ●世話役のつぶやき

いつも大変お世話になっております。私は、この4月より10年間の

本庁勤務から初めての異動となり、中讃保健福祉事務所への配属となりました（本庁の前所属課と兼務の状態ですが・・・）。中讃地域は、香川県（讃岐）の中部にあたり、瀬戸大橋の四国側玄関口である坂出市、弘法大師・空海の生誕地である善通寺市、こんぴらさんの呼び名で知られる金刀比羅宮のある琴平町などを含む8市町からなっています。新天地かつ新たな業務でドキド



キしていますが、全力で取り組んでいきたいと思っています。行歯会の皆様、引き続きよろしく  
お願いいたします。

## ●最近のトピックス

この4月より保健福祉事務所勤務となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響やその  
対応により、通常の業務・事業が中止・延期となっていますので、昨年度、県で行った講演会等  
について話させていただきます。

香川県では例年、県歯科医師会と協力し、さまざまな講演会等を実施しています。昨年度は、  
その一つとして、大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能治療学教室の阪井 丘芳教授に、県民公開  
講座として「年をとると、どうして唾液が出なくなるか？ ～口腔機能低下症の中でのドライマウ  
ス～」と題して、ご講演いただきました。一般の方の多くの参加があり、先生の話に熱心に聞いて  
おられ、数人の方は質問もされていました。その他にも開催しましたので、最後に列記させて  
いただきます。令和2年度も引き続き講演会の実施を予定しています。一日も早くこの事態が終  
息し、平穏な生活に戻り、予定どおり事業が実施できることを切に願います。

- ・「口腔機能から食育そして小児歯科診療まで」

国立モンゴル医学科学大学 客員教授 岡崎 好秀 先生

- ・「スポーツ歯科外傷の安全対策」

東京歯科大学口腔健康科学講座 教授 武田 友孝 先生

- ・「摂食機能障害の気づきとその対応について」

岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター 山本 昌直 先生

### ♪ 編集後記 ♪

やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ（N）  
行歯会だより編集担当としての最後の号となりました。十分な働きができず、一緒に担当をし  
てくださった皆さまや執筆者の皆さまにご迷惑をおかけし、また助けていただいたことを、こ  
の場をお借りし、お詫びとお礼をさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。  
（Y）  
コロナ過の行歯会だよりで遠出気分。各地からの報告、つぶやきに癒されてます。（K）

### 「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、掲載コン  
テンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている窓口宛  
にご連絡ください。